**新潟大学　公開・オプトアウト書式**

テンプレート

|  |  |
| --- | --- |
| ①申請番号 | 2017-0068 |
| ②研究課題名 | 抗がん剤の規格最適化方式および採用規格の違いによる薬価削減効果の調査 |
| ③情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。） | 　複数規格が存在する抗がん剤等を使用する場合、規格最適化を行う方式として、代表的なものに薬価を最小化する方式と廃棄用量を最小化する方式があります。多くの場合、簡便であることから後者の方式が選択されると考えられますが、これらは必ずしも一致するとは限らず、薬剤によっては患者さんの負担の増加につながる可能性があります。そこで、両方式の一致性について調査を行い、廃棄用量を最小化する方式が薬価を最小化する方式の代替となるかを検討します。また、規格最適化による薬価削減効果を調べ、病院における採用規格を決める際の指標として有用性か検討します。　　　　　　　なお本研究では、注射薬（抗がん剤）の一回使用量の情報を使用します。個人を特定できる情報の取り扱いには十分注意し、匿名化を行います。また、この研究結果を公表する(学会発表や学術雑誌への投稿)場合も、個人を特定できる情報は含まれません。 |
| ④利用または提供する情報の項目 | 注射薬（抗がん剤）の一回使用量の情報 |
| ⑤対象者及び対象期間 | ２０１５年４月～２０１７年３月の間に、投与用量が体重または体表面積等を元に設定される注射薬（抗がん剤）を用いた治療を新潟大学医歯学総合病院で行った方 |
| ⑥利用の範囲 | 新潟大学医歯学総合病院　薬剤部 |
| ⑦試料・情報の管理について責任を有する者 | 新潟大学医歯学総合病院薬剤部鈴木直人 |
| ⑧問い合わせ先 | 新潟大学医歯学総合病院薬剤部関川　洋史TEL : ０２５－２２７－２９８６ |